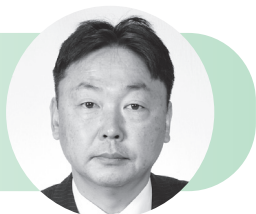


川 瀬 知 之 議員



JR・名鉄駅のマンシオン化等を考えた駅前開発を

問

JR・名鉄弥富駅周辺の整備【関連記事10面】について聞く。

(1) JR駅の東西踏切は、どんな条件で上げ下げされているのか。

(2) 国道1号から中六商店街を抜ける道路の拡幅工事が、途中で中断しているが、今後どうするのか。

(3) JR駅西側踏切の交通誘導が予算計上されているが、労働条件と契約期間は、

(4) JR駅の橋上化の計画内容、進捗状況は。

(5) JR駅の橋上化の仕様はどうか。

(6) 名鉄弥富駅は名鉄の終端であり、少し西に移動すればマンシオン化する余地がでけると思う。

市が規制緩和して後押しするとか、地下鉄始発駅にするとか、

乗り換えが楽なJRの需要など、そういう利用方法も考え、相手の事業、市民を協議に入れ事業推進すれば、スムーズに駅前開発ができると思うかどうか。

JRの計画の前進を進めたい

答 都市計画課長

(1) JRに確認したが、JR駅の東側、西側の両踏切は、駅構内の踏切になる。

列車が駅に接近すると、両側の遮断機が閉まる仕組みになっており、当該踏切を通過するまでの間、遮断しているとのことだった。

今後、JRに遮断時間短縮対策を要望したい。

(2) 国道1号から近鉄線まで拡幅している。

県が管理者なので、それから北は、拡幅計画を要望していく計画でいる。

(3) 週5日、午前7時から10時と、午後4時から7時までの6時間で、誘導員を2人、23年度は約643万円で、24年度も同様に事業執行する予定である。

(4) 22年度に基本構想を作成し、名鉄とJRに3回ずつ協議している。

今後、鉄道事業者が計画する駅のバリアフリー化も考慮に入れ、橋上駅舎化、自由通路の実現化に向け協議を進めていきたい。

24年度、基本計画策定業務委託料を予算化している。

(5) 北側の駅前広場を介し、JR上で橋上化、自由通路を計画し、南北の行き

来ができる構想ができています。

答 市長

(6) バリアフリー化を32年度までに進めたいと、23年9月にJRから話をもらっている。

ぜひこれを市として早く前倒しして、橋上化を含めて進めていきたい。



▶ JR・名鉄弥富駅